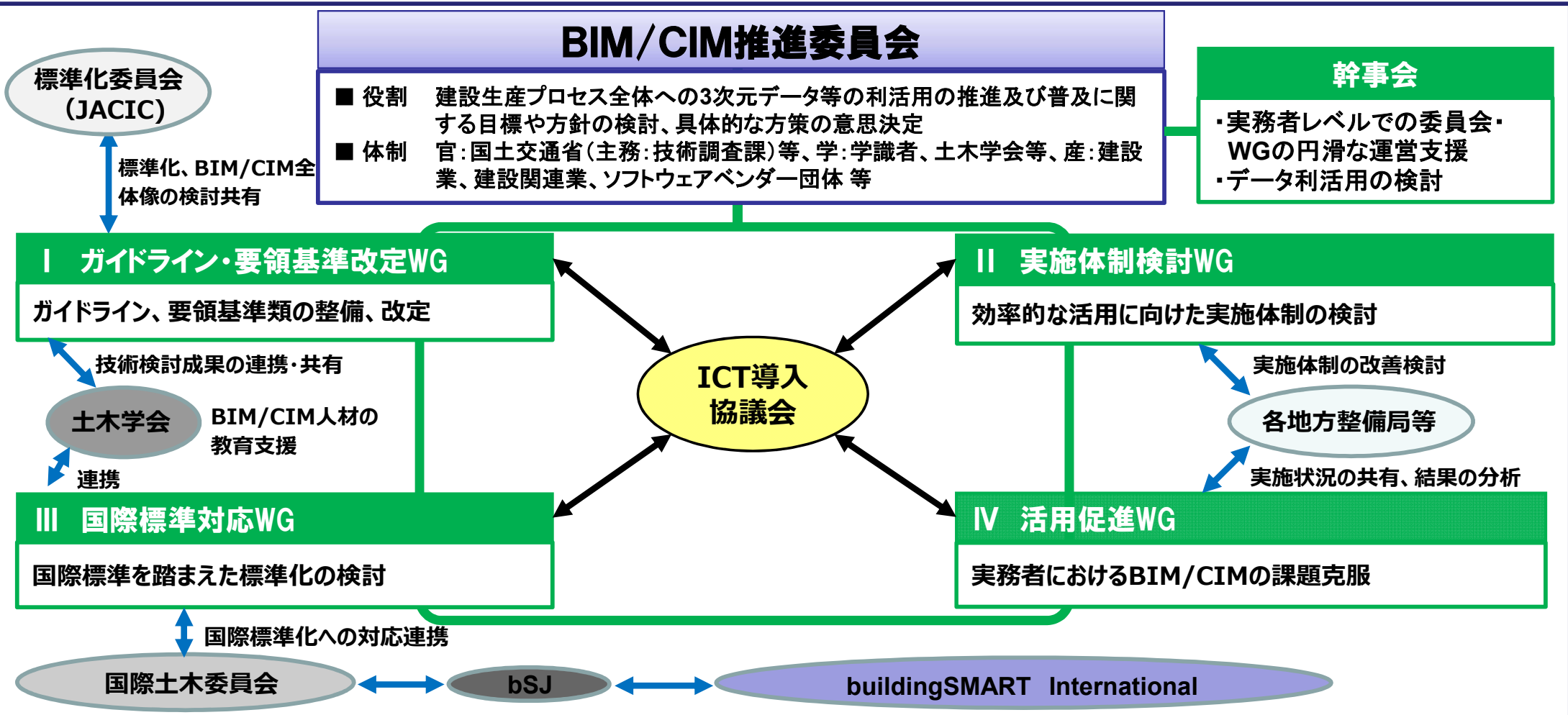


平成30年度BIM/CIM推進委員会検討体制

BIM/CIM推進委員会の設置について

- 平成30年度における検討にあたっては“BIM”の国際的な進展状況を踏まえるとともに、CIM導入後の3次元データの利活用による生産性向上を検討するため「BIM/CIM推進委員会」と改称し、体制を再構築する。
- 具体的な施策の検討にあたってはWGを設置するとともに相互に連携をはかる。



※ BIM/CIMとは、Society5.0における新たな社会資本整備を見据え、建設生産・管理システムにおいて3次元モデルを導入し、事業全体で情報を共有することにより一連の建設生産・管理システムの効率化・高度化を図ることをいう。

BIM/CIMに関する運営体制

- H29年度までのCIM導入推進委員会での検討を踏まえ、4つのWGを再構成。
- 建設生産・管理システムの3次元データ活用等による生産性向上の議論を加速化させる。

CIM導入推進委員会

CIM導入推進委員会・WG体制	
WG	検討項目
ガイドライン・要領基準改定	○ ガイドライン、要領基準類の整備、改定
CIM実施体制検討	○ CIMの効率的な活用に向けた実施体制の検討（ECI方式等）
国際標準対応	○ 国内のデータ交換標準の検討及び国際動向の把握・共有
現地での検証	○ CIM活用業務・工事のフォローアップ

➡
改称

BIM/CIM推進委員会

- 建設生産プロセス全体への3次元データ等の利活用の推進及び普及に関する目標や方針の検討、具体的な方策の意思決定

BIM/CIM推進委員会・WG体制				
WG	検討項目（・はH30検討項目）	学	産	官
ガイドライン・要領基準改定	○ ガイドライン、要領基準類の整備、改定 ・CIM導入ガイドラインの拡充 ・3次元モデル表記標準の拡充 ・土木数量算出要領の拡充	小林委員 蒔苗委員 ◎皆川委員 矢吹委員	●	●
実施体制検討	○ 効率的な活用に向けた実施体制の検討 ・3次元データ契約図書化の制度検討 ・3次元オブジェクトの供給 ・教育、技術者育成検討 （・リクワイヤメントの設定方法の検討）	◎小澤委員 木下委員 皆川委員 矢吹委員	●	●
国際標準対応	○ 国際標準を踏まえた標準化の検討 ・国内のデータ交換標準 ・BS,PAS1192を踏まえた国内対応 ・国際動向の把握・共有	建山委員 ◎矢吹委員	●	●
活用促進	○ 実務者におけるBIM/CIMの課題克服 ・受発注者双方のフォローアップや改善分析 ・活用効果の定量的な評価指標の検討 ・データ流通・利活用に向けた環境整備	-	●	●

⚡
継続

➡
再編